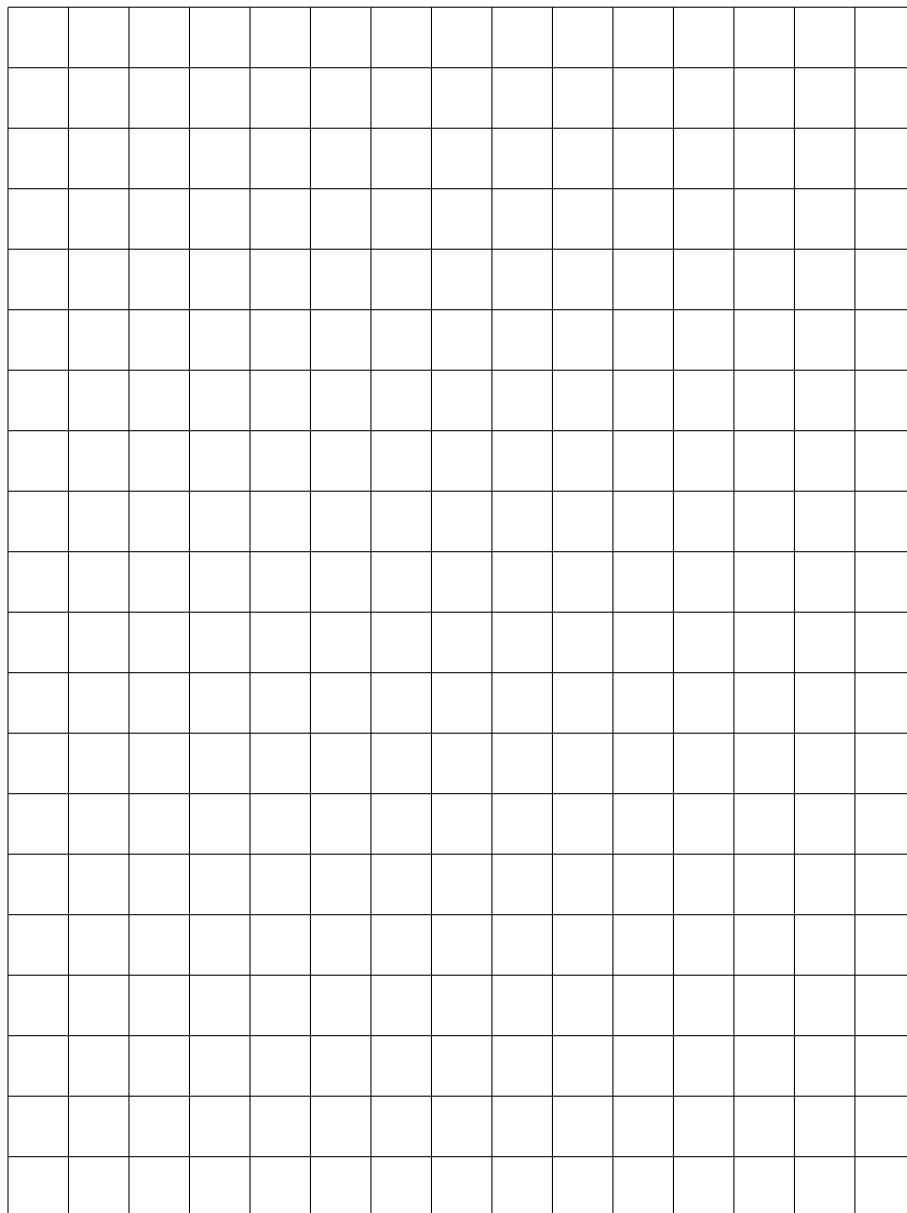


2008 年度 離散数学 講義資料¹

例題 1 任意に与えられた異なる 4 個の整数から、適当に 2 個を選ぶと、その差は 3 の倍数になる。

例題 2 平面上の点 (x, y) で、 x, y がともに整数であるとき格子点という。いま、平面上の相異なる 5 個の格子点から 2 個の格子点を選んでできる線分の中点を考える。ただし、中点とは、2 点を両端とする線分上にあり、その両端から等しい距離にある点のこと。このときできる中点のうち少なくとも一つは格子点になる。



¹法政大学 情報科学部, 2008 年度 秋 離散数学 (水曜日 1 時限目)
©2007–2008 栗原正純, 電気通信大学情報通信工学科, kuri@ice.uec.ac.jp
(46:/usr/home/kuri/doc/tex/dismath2008/ : 2008/10/16/15:42)